

# 会 議 録

第7回定例会

開会 平成29年7月14日

## 教育委員会会議録

1 開 会 平成29年7月14日 午前10時

2 閉 会 平成29年7月14日 午前10時40分

### 3 教育員会出席者

教育長	美馬 持仁
委員	松重 和美
委員	三牧 千鶴子
委員	辻 貴博
委員	藤本 宗子

### 4 教育長及び委員以外の出席者

副 教 育 長	勢井 研
教 育 次 長	森本 俊明
教 育 次 長	栗洲 敬司
コンプライアンス推進室長	大島 耕治
特別支援教育課長	榊 浩一
体育学校安全課長	林 日出夫
教育政策課長	小西 哲也
教育政策課副課長	倉橋 伸寿

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[教育長報告]

副教育長 6月定例県議会における質疑応答の概要について報告する。

[議 事]

教育長 報告事項1を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 そのように取り計らうこととする。

[議 事]

教育長 追加案件が1件あることを告げ、議事に入ることを告げる。

《報告事項 板野支援学校スクールバスの事案について》

教育長 報告を求める。

特別支援教育課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

教育長：いろいろな要素が絡み合ったが、どこか1つが機能していれば防げた。バスだけでなく、目の届かない時間帯がないか、ヒヤリハットはないか、しっかりと徹底して学校での生活全般をもう一度点検するよう校長会でも指導を行った。

今回の事案を教訓に、県教育委員会としても学校任せにするのではなく、一緒に取り組んで参りたい。

藤本委員：スクールバスの運営は県なのか、業者に委託しているのか。また、添乗員はいるのか。

特別支援教育課長：今回の事案のバスは委託である。板野支援学校のバスは3台あり、2台は県の職員が運転している。運転手1名、添乗員1名がいる。

藤本委員：障がいのある子どもなので、バスを降りるときにもなお気をつけて欲しい。また、保護者と連絡がつかなかったとのことなので、保護者からも連絡先を2つ、3つ教えておいてもらうことも必要。

三牧委員：運転手も介助員も委託しているのか。

特別支援教育課長：今回のバスは、バス自体は学校のバスであり、運転業務と介助業務を委託している。

藤本委員：業者の方にも責任感を持つよう指導していただきたい。

教育長：板野支援学校はバスの台数が3台と多い。教員も朝早くから添乗している。働き方改革も踏まえ、どのような方法が信頼される形になるのかを含め検討していく。

三牧委員：バスに乗車する子どもは決まっているのか。

特別支援教育課長：決まっており、乗車名簿がある。

三牧委員：乗車、降車の際、チェックするのか。

特別支援教育課長：名簿でチェックしているが、今回降車の際、名簿でのチェックができていなかった。

三牧委員：目視でチェックしているのか。

特別支援教育課長：目視でチェックしている。

三牧委員：水泳の指導での命札が新聞に掲載されていた。チェックする工夫が必要であり、ちょっとした工夫で確実になると思う。

特別支援教育課長：乗車名簿があるので、活用できていれば防げた。今回の事案を受けて、各学部の部屋に貼り出しを行い、全て職員が確認できるようにした。

三牧委員：二重、三重のチェックが必要。

教育長：今回被害を受けた生徒については、継続して寄り添う指導を行い、今学校に来ていても、当分の間はしっかりと様子を見ていく。

## 《報告事項2 平成29年度『中学校トップスポーツ協議育成事業』選考結果について》

教育長 報告を求める。

体育学校安全課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

松重委員：今後、徳島らしい競技を育ててみてはどうか。

体育学校安全課長：将来的にマイナー競技も検討してみたい。

教育長：企業が受け皿となって選手育成ができれば良い。

松重委員：育成にはお金が必要、全国での場慣れが必要である。遠征費は十分か。

体育学校安全課長：指定競技に傾斜配分し、今回最高額は110万円配分している。

[非公開]

《報告事項1 公益通報の受付・処理状況について（平成29年4月～6月分）》

[閉 会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午前10時40分